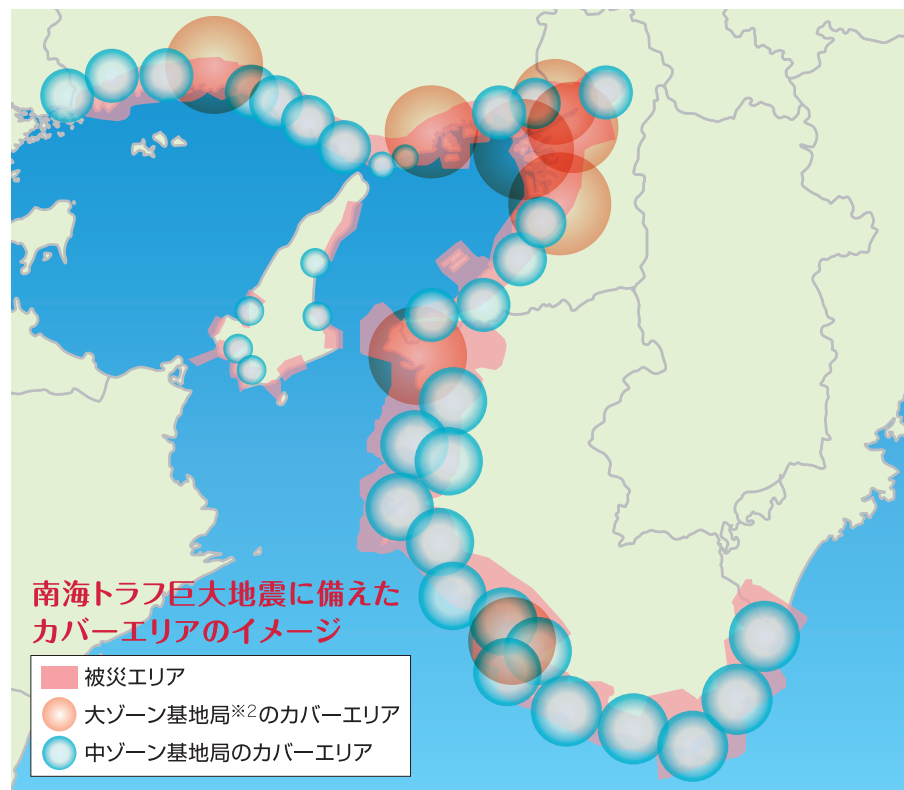


『南海トラフ巨大地震』に備えた災害対策のご紹介

『南海トラフ巨大地震』が発生すると沿岸部(和歌山県・兵庫県・大阪府)では、津波により基地局への有線伝送路が切れたり、電気が途絶えることで、携帯電話を使えなくなることが想定されます。

そこで、津波の影響を受けない基地局の災害対策を強化(中ゾーン基地局と呼びます)し、被災エリアでも、ほぼ携帯電話を使えるようにしました。※1



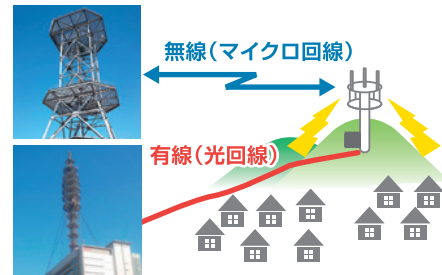
※1: 想定被災エリアでご利用いただいている約96%のお客様の通信を確保することが可能となりました。

※2: 大規模な災害時にサービス提供する基地局

■中ゾーン基地局の対策内容

1 伝送路の2重化

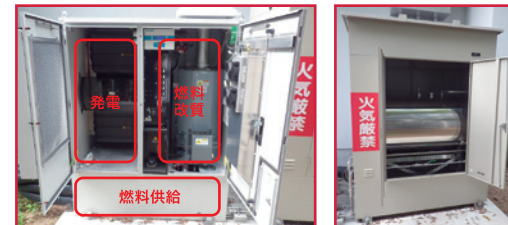
津波などで有線(光回線)の伝送路が断線してしまった場合でも、無線(マイクロ回線)で2重化しておくことで、通信を確保。



2 通信用補助電源の長時間化

燃料電池を利用して、通信装置の電源を3日分確保。

※燃料電池は燃料を補給することで、連続運転が可能です。



本体

外部タンク

3 遠隔からのエリアコントロール

遠隔での操作によりエリアを広く取り、被災エリアをカバー

